

訪問看護ステーション 連絡協議会だより 第50号

発行年月 2025年9月
発行所 岡山県訪問看護ステーション
連絡協議会
〒700-0805 岡山市北区兵団4-39
岡山県看護研修センター3階
TEL086-238-6688・FAX086-238-6681
https://okayama.houmonkango.net/
E-mail okayama@space.ocn.ne.jp
発行責任者 菅崎仁美

会長挨拶



一般社団法人
岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

会長 菅崎仁美

平素より、岡山県訪問看護ステーション連絡協議会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

たケアを提供できる大きなチャンスでもあります。

近年、岡山県内では訪問看護ステーションの数が増加傾向にあります。地域によって偏在が見られ、依然として課題が残っています。加えて、高齢化に伴う医療ニーズの多様化・複雑化や、看護師不足といった問題も深刻化しています。

また、近年増加している自然災害への備えとして、有事の際に助け合える関係づくりも重要です。地域に根ざした訪問看護の体制を整えるためには、日頃からの交流や情報共有が欠かせません。

こうした状況の中で、私たちが質の高い看護を継続的に提供していくためには、個々の専門性を高めることに加え、多職種との連携をより一層強化することが不可欠です。これは、

今後、在宅医療を必要とする方々がさらに増えることが予想される中、訪問看護師のスキルアップを図るとともに、各地区でのつながりを深め、相談や協力がしやすい環境づくりに努めてまいります。

私たちが専門職としての力を発揮し、利用者様に寄り添っ

引き続き、皆様の温かいご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

賛助会員からのメッセージ

持田ヘルスケア株式会社

持田ヘルスケア株式会社は持田製薬グループの一員として「先見的独創と研究」という社是のもと、付加価値の高い製品を開発しています。

フケが、頭皮のカビ(真菌)の増殖によって起こることに着目し、頭皮をケアするという新しいコンセプトのもと、日本で初めて抗真菌成分(ミコナゾール硝酸塩)を配合した薬用シャンプー「コラージュフルフル」はその典型です。主な製品として、抗真菌成分を配合したヘアケア製品、ボディケア石鹸があります。その他、育毛剤、おむつを着用する方の予防的スキンケアにご使用いただける撥水保護クリームなど、様々な肌トラブルを側面からサポートする製品を提供しています。

これからも、皮膚科学に基づく機能性の高いスキンケア製品を開発して貢献して参ります。

→連絡先 06-4704-6381

森下仁丹株式会社

弊社は介護予防を重視し、ADL低下の原因を日常ケアで防ぐことで、ご利用者様の健康維持に貢献したいと考えています。

その中でも特に排泄は非常にプライベートな行為であり、その管理は患者様の尊厳に影響します。老年期には身体機能の低下や薬の影響で、医療の助けを借りて排便をコントロールする必要が出てきますが、弊社の製品がその状況を少しでも遅らせる一助となれば幸いです。そのために慢性的な便秘時の食事療法でポイントとなる「シンバイオティクスと短鎖脂肪酸」についての解説と、実体験をしていただくワークショップも実施しています。

弊社は、今年9月に岡山で開催されるPOOマスター養成研修会も支援しています。

→お問い合わせ先: satou@jintan.co.jp

訪問看護ステーションワレ

訪問看護ステーションラポール

管理者 高木 美代子

訪問看護ステーションラポールは、看護師5名の小さなステーションですが、ご利用者が、『住み慣れたご自宅で、家族、地域の方と自分らしく生活する』を支えるために日々活動しています。

訪問の合間などは、スタッフ間でこまめに情報共有を行い、どのようにチームで看護を展開していくかなどカンファレンスを行っています。そのためにも、ご利用者様、ご家族様の声や想いを聴くことを大切にしています。

また、ケアマネジャーをはじめ訪問診療医の先生方、リハビリスタッフや介護スタッフなど、多職種で連携することの大切さも日々感じています。

安心して在宅生活が継続できるよう、また在宅生活を安心して始められるよう、これからも身近で気軽に相談できる訪問看護師を目指して頑張っていきたいと思えます。

訪問看護ステーションこだま

管理者 佐藤 優子

はじめまして。津山市にある訪問看護ステーションこだまです。

4月に育児休暇から復帰した看護師や入職して1年経った看護師など30～50代の看護師5名です。母体の石川病院に併設しており、理念は「“母の手”のように愛情と優しさのある医療・介護を目指す」です。

ある日、96歳のご利用者より「看護婦さんはみんな僕のお母ちゃんだ。なんでも言える。頼りにしてます。明日も来てくださいな。ありがとう。」というお言葉を頂きました。心が温かい気持ちになり満たされた気持ちでステーションに戻りみんなで笑顔になったことを思い出します。

職員一人一人の優しい態度や声掛け、丁寧なケアが日々継続されてこそ頂けた言葉だと感謝しています。これからも職員一同、一意専心取り組んでいきます。



岡山県医師会コールセンター事業

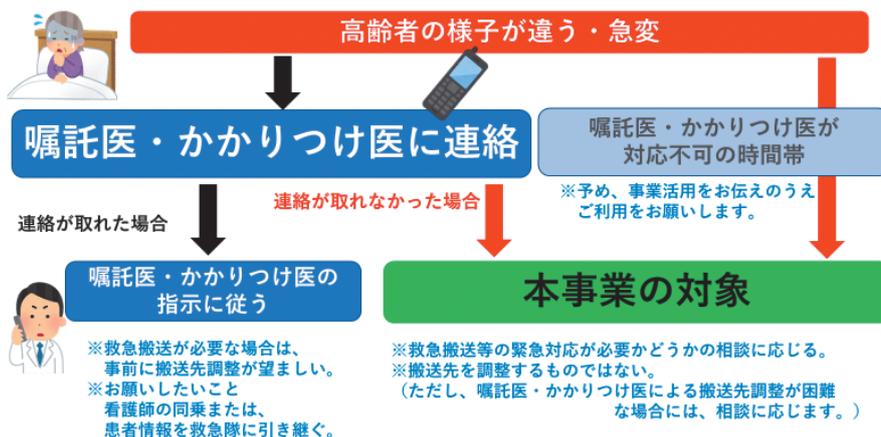
高齢者支援にかかわる時、かかりつけ医と連絡が取れずに困られた経験はありませんか。

担当の高齢者の方が、普段とは様子が違う、急変している時などに、かかりつけ医と連絡が取れず、判断に悩む・不安な時に相談できる場として、「岡山県医師会コールセンター」を設置しています。365日・24時間体制で、利用料は無料です。

コールセンター ☎ **080-2252-8801** にお電話いただくと、岡山大学病院高度救命救急センターの救急医に繋がります。

悩みや不安をそのままにせず、より良い訪問看護サービス提供のために、ご活用ください。

急変時等相談窓口 ～コールセンター事業～

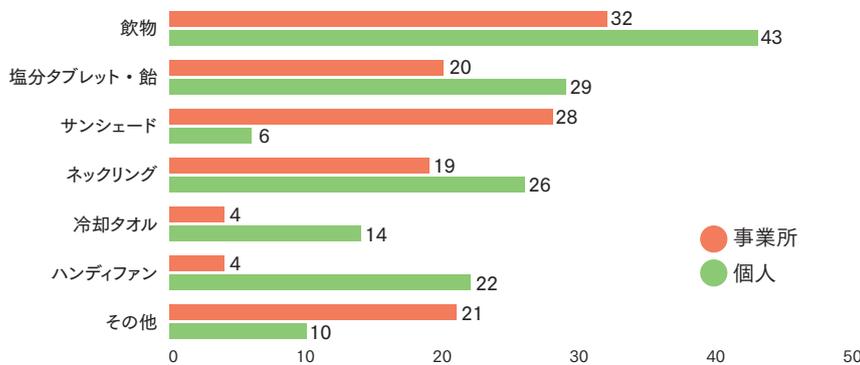


2025年6月1日より 職場における熱中症対策が事業者の義務となりました

厚生労働省は、職場での熱中症による死亡事故の増加を受け、労働安全衛生規則を改正しました。これにより、WBGT（暑さ指数）28度以上または気温31度以上の環境下で、連続1時間以上または1日4時間を超える作業を行う場合、熱中症対策を実施することが事業者の義務付けられました。訪問看護ステーションは対象の環境下ではないものの、室温調整のされていない中での看護やリハビリ、また夏場の入浴介助などもスタッフの体調面への影響がかなり大きいと感じており、対策が必要とされています。

先日の管理者総会において、各事業所の熱中症対策が話題となりました。今回アンケートを作成して、皆様の事業所や個人における熱中症対策を調べてみました。

事業所・個人で準備している熱中症対策について (回答 50 事業所・複数回答含む)



事業所・個人で準備している熱中症対策について (その他の内容抜粋)

- | 事業所 | 個人 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 冷却ベスト クーラーボックス アイスノン 岩塩 汗拭きシート ユニフォームの変更 | <ul style="list-style-type: none"> 日傘の利用 冷却スプレー アームカバー UV カットパーカー 車用冷蔵庫 |



アンケートを集計しながら、どの事業所も様々な暑さ対策や工夫をしながら日々の業務に取り組んでいることが分かりました。特に入浴介助やリハビリなど、暑さの影響を受けやすい場面では様々な工夫がされているようです。入浴介助時の工夫や対策としては、訪問件数の調整が一番多く、その他は冷却グッズの使用や着替え等の回答がありました。

また、ステーションによって、冷却グッズなどを事業所で揃えている場合と個人で揃えている場合があります。取り組みに違いがみられました。今後は、このような取り組みや工夫を共有し、事業所全体でより快適で安全なケアにつないでいくことができればと思います。

この広報誌が皆様のお手元に届く予定の9月も、まだまだ残暑が厳しいときではありますが、この記事を参考にして暑さを乗り越えていただければと思います。

アンケートのご協力ありがとうございました。



認定看護師等の相談事業について

令和7年度事業の取り組みとして、専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了した訪問看護師による連絡会および相談窓口が令和7年に開設されます。

県内の訪問看護ステーションに専門性の高い訪問看護師は21名(事業に賛同頂き登録されておられる方)在籍しています。

専門看護師分野では、がん看護、認定看護分野では、緩和ケア、がん性疼痛看護、摂食・嚥下障害看護、認知症看護、皮膚・排泄ケア、訪問看護、認定看護管理者、特定行為では腹腔ドレーン・ろう孔・創傷・創部ドレーン管理、栄養及び水分管理に係る薬剤投与・呼吸器関連になります。これらの専門性の高い訪問看護師が相談対応させていただきます。ケア方法や支援について困った事例や制度等、一緒に考えることで、より質の高い看護ケアができることをめざしていきます。と同時に、各員側も専門性を発揮する場として、皆さまとともにスキルアップできることを望んでいます。

相談窓口は岡山県コールセンター内となります。「相談受付シート」は、事業開始と同時に各ステーション様へ配布させていただきますので、メール・FAXで一報いただくことができます。

新しい取り組みであり、今後も事業についての検討を重ねてまいりますので、皆さまのご意見も頂きたいと思っております。

事務局担当 樋口 妙子

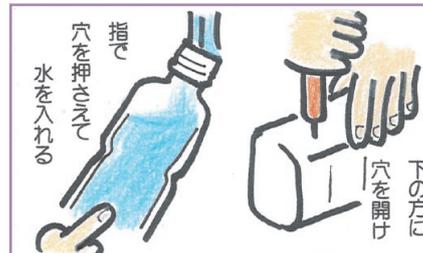
事務局からのお知らせ

訪問看護体験事業をぜひご活用ください

県、岡山市、倉敷市より委託され、訪問看護に関心のある看護職の方対象とした訪問看護体験事業を行っており、多くの方が体験事業により入職されています。訪問看護を実際に体験することで、ほとんどの方が「やりがいや魅力を感じた」「訪問看護をやりたい」と回答されています。また、事業所からは、「体験事業を活用することで、その人となりを見ることができ採用に繋がった」という声も寄せられ、双方でメリットの大きな事業となっています。

事業所からのお申込みも受け付けています。採用を検討されている看護職の方へ、「まずは体験してみませんか」とお声かけいただき、当事業をご活用ください。

手づくり防災グッズ





訪問看護
お住まいでの
療養生活を支えます
☎086-238-6688

岡山県内訪問看護ステーションマップ



岡山県内訪問看護ステーションガイド



岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

広報委員からのお知らせ

訪問看護の魅力を伝える原稿を募集します

現在、訪問看護ステーションでは人材確保が大きな課題となっています。私たちは、訪問看護の現場で活躍している看護師のみなさまの「リアルな声」こそが、これから訪問看護を目指す方々の背中を押す力になると信じています。

そこで、訪問看護の魅力や、訪問を通じて「この仕事をしていて良かった」と感じた体験、心に残ったエピソードなどをみなさまから募りたいと思っています。

みなさまの言葉が、訪問看護に関心ある看護師たちに新たな一歩を踏み出すきっかけになります。(募集につきましては、改めてご案内しますので、ぜひご協力をお願いします。)

編集
後記

毎年「今年は例年になく暑い」という言葉をよく耳にしておりましたが、2025年7月・8月は全国歴代最高気温を1位から5位まで一気に塗り替えるほどの暑さで、北海道でも39度になるなど、今年は災害レベルと言ってよいほどの暑さでした。職場における暑さ対策はスタッフ・利用者さんを守る為に、毎年必須課題となっていました。今年は熱中症対策が義務化されましたが、マニュアル作成や暑さ対策の新しい取り組み案として、今回の広報紙が各ステーションのお役に立てればと思います。

広報委員一同